ボーリング柱状図

調　査　名　船越六丁目17地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業・工事名　船越六丁目17地区　急傾斜地崩壊対策事業

ボーリングNo	1

シートNo　1

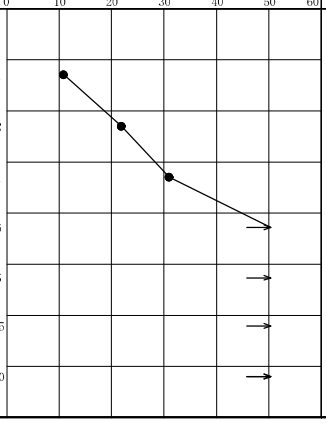
ボーリング名	BorNo.1	調査位置	広島県広島市安芸区船越六丁目　地内			北緯	34° 22’ 38.39”
発注機関	広島県土木建築局　西部建設事務所			調査期間	令和 4年 8月 29日 ～ 4年 8月 29日	東経	132° 31’ 59.33”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 58.90m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 35°	使用機種	
総掘進長	7.00m					試錐機	東邦D0-D（2）型	ハンマー落下用具	半自動落下型
						エンジン	ヤンマーTF120-VE型	ポンプ	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	58.45	0.45	0.45		表土・砂質土	暗褐			草根が侵入する、マサ状土砂よりなる。
1 2 3	54.90	3.55	4.00		花崗岩・風化土	褐			岩級区分のDL～DM級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、指圧にてマサ状に崩れる。 雲母は黄金色に変色しているが、岩構造は明瞭である。
4 5 6 7	51.90	3.00	7.00		花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のDM級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。 鉱物間の結束は非常に密な状態にあり、掘削方向に向かって密度を増す。 上層同様に岩構造は明瞭である。

孔内水位(m)／測定月日

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	4	4	11/30	11
1.45 2.15	7	7	8	22/30	22
2.45 3.15	7	9	15	31/30	31
3.45 4.15	14	22	14/7	50/27	56
4.42 5.15	15	25	10/3	50/23	65
5.38 6.15	34	16/3		50/13	115
6.28 7.15	50			50/10	150
7.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果 ( )	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						8/29